

ほっかいどうの社会保障

2012年1月17日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648

FAX:758-4666

4年連続値上げ、今回は保険料値上げ反対！

協会けんぽ北海道支部長名で全国運営委員会へ「意見表明」

1月16日（月）に行われた全国健康保険協会北海道支部評議会で、「2012年度北海道支部保険料率の決定に係る意見」（反対する）を確認しました。【加入事業所76317、172万人（被保険者数962,960＋被扶養者数758,639） 2011年11月末現在】

2012年度北海道の保険料率（案）は、2012年3月分から（4月分給与から）**10.12%**に値上げされることとなります。（現在9.6% 0.52%値上げ）

療養給付費等（6.45%）＋年齢調整（ $\Delta 0.19\%$ ）＋所得調整（ $\Delta 0.48\%$ ）＋後期高齢者支援金（+4.71%）など⇒**10.49%**
激変緩和措置（10.49%を全国平均【10.00%】との差を2.5/10に縮減⇒10.12%）＋支部の前年度収支差（ $\Delta 0.01\%$ ）⇒**10.12%**

今回値上げされると、4年連続値上げになり、4年前（8.2%）の1.23倍になり、北海道平均標準月額26万円の場合、年額16224円（労使合計）の負担増になります。介護分も1.51%から1.55%へ値上げが提案されています（尚、激変緩和措置は6年後の2017年度までです）。

この間、3回の支部評議会で、保険料問題について議論され、事業主代表、被保険者代表、学識経験者とも反対の議論を重ねてきました。1月27日に全国の運営委員会で保険料率について審議されます。他の都道府県も多くが反対するようです。

「支部長の意見」から

保険料率の引き上げについては、北海道支部として4年連続の引き上げとなることから、現在の北海道の経済状況を鑑みた場合、事業主並びに加入者の皆さまに多大なご負担を強いるもので誠に遺憾に思います。

これまで当支部は・・・引き上げは**やむを得ないとの立場をとってきたところ**ですが、毎年繰り返される引き上げやこれまでの附帯要請としてきた要望事項について何ら進展なり方向性が見いだせない現状に対し、支部評議会からも強い不満があることを真摯に受け止め、平成24年度の北海道支部保険料率（案）については**反対の立場を表明いたします**。・・・以下要望事項（略）

公的負担増やし介護保険料引き下げを 各地で行動広がる

1月15日（日）、北海道地域・自治体問題研究所（医療・福祉部会）主催で「介護保険計画案学習会」が行われました。日下部雅喜氏（大阪社保協介護対策委員）が「介護保険改定と地域での課題～第5期事業計画案への取り組み」と題して講演しました。日下部氏は、「大阪府堺市で介護分野を担当している職員ですが、5時から『介護保険料に怒る一揆の会』の事務局長として活動している」と自らを紹介。介護心中・殺人、介護退職、介護貧乏、介護破産など介護保険12年の現実に触れ、第5期計画の課題として①総合事業、②地域包括ケアと定期巡回サービス、③介護保険料改定、報酬・基準の改定について説明しました。

介護保険料については、第4期には麻生政権が臨時特定交付金（3%報酬引き上げの半額保険 札幌市の場合241円引下効果）があったが、今回はなくその分も値上げの要因。介護給付費準備基金のある自治体はこの取り崩し、また財政安定化基金（国・道・市町村が各1/3 2010年度末で149億円）の2012年度に限って1/3分は市町村の保険料軽減の財源に回ることになっている。自治体の一般会計からの繰り入れも求め、自治体とともに、道や国の分も保険料軽減の財源にすること、さらに第4期のように交付金を求めることも大切と強調。国は、これまで全額国庫負担だった介護処遇改善交付金を介護報酬に含めようとしている。これも保険料をあげる要因になる、これにも反対する運動が必要と説明しました。

釧路市社保協、介護をよくする江別の会でも要望書提出 旭川の保険料引き下げ署名好評！



釧路社保協は12月16日、「第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定に向けて、9項目の要望書を釧路市長宛に提出しました（左写真）。介護をよくする江別の会でも、市の介護保険事業計画策定等委員会へ要望書を提出しています。

また、旭川社保協が行っている介護保険料引き下げを求める署名は、市内の約150カ所の老人クラブに署名用紙を郵送したところ次々に署名用紙が返送されてきます（右写真）。

